

集積化アクティブ光アクセスシステムの研究開発

- ギガビット級光アクセスシステムの構成要素である10G-ONU(10 Gigabit-Optical Network Unit)とOLT(Optical Line Terminal)を先端デバイス技術であるSPIC (Silicon Photonic Integrated Circuit)により小型集積化する技術、及び10G-ONU、OLTの制御技術
- 双方向の能動型(アクティブ)のギガビット級光アクセスシステムの核となる超高速光スイッチの構築とその制御技術

研究開発期間:平成19年度～平成21年度(3年間)
予算:総額370百万円程度(上限、平成19年度)

